

競技レベルの違いとコーチング・メンタルモデル —X 県内高校サッカー指導者の事例研究—

加藤篤¹⁾, 堀野博幸²⁾

¹⁾細田学園高等学校

²⁾早稲田大学スポーツ科学研究科

キーワード：コーチングモデル、サッカー、質的研究、メンタルモデル

【抄 録】

本研究では県の大会で上位の成績を収めている X 県高等学校サッカー部の指導者 9 名を対象に、指導者のコーチング・メンタルモデルを明らかにすること、また、各指導者のコーチング・メンタルモデルの共通性と特異性が競技レベルに及ぼす影響を検討することを目的とした。

データ収集には、6 名の指導者に半構造的自由回答インタビューを行った。データ分析は、Côté et al.(1993)による質的データ分析法に基づき行った。

その結果、対象者の共通性として、「取り組む姿勢」、「選手支援」、及び「人間教育」の大カテゴリーがみられ、全ての指導者が「人間教育」を一番大切に考えていることが明らかとなった。本研究結果から、同等の競技レベルのチームを指導する者は、類似のコーチング・メンタルモデルを持つことが明らかとなった。また、競技成績に関しては、指導者の考え方の違いではなく、徹底度合いの違いである可能性が示唆された。

スポーツ科学研究, 11, 146-158, 2014 年, 受付日: 2013年11月11日, 受理日: 2014年4月7日

連絡先: 加藤篤 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2-7-5 体育教室棟205

E-mail:infinite-colours@hotmail.co.jp